研究課題名	Stage Ⅳ 胃癌に対する治療成績に関する多施設後ろ向き観察研究
研究の意義・目的	Stage Ⅳ 胃癌患者様に対する治療歴、治療成績を多施設において後ろ向きかつ網羅的にデータ収集を行います。その中で、高齢者と非高齢者、コンバージョン手術（以下に定義を記載しています）施行症例と非施行症例の差異に着目した検討を行うことが目的です。 （コンバージョン手術とは当初、根治切除不能と判断されていた Stage Ⅳ の患者様において化学療法後に根治切除可能となり行う手術を指します。） また、本研究は大阪公立大学が中心となって行う研究です。
研究を行う期間	総研究期間は実施許可後、2027 年３月までです。
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2022/1/1 から 2022/12/31 の間に下記の研究機関で胃癌に対して化学療法を開始された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ】
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名（提供元について）	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院　研究機関の長の氏名：寺井章人
提供する試料・情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院 研究責任者　腫瘍内科　仁科慎一 岡山県倉敷市美和 1-1-1 電話番号：086-422-0210（代表）
試料・情報を利用する者の範囲および管理について責任を有する者の研究機関の名称	この研究は OGSG へ頂いた情報を提供します。 大阪消化管がん化学療法研究会（OGSG: Osaka Gastrointestinal Cancer Chemotherapy Study Group） 研究組織代表者：佐藤太郎 OGSG は消化管がんの治療成績の向上に寄与することを目的とした研究会であり、特定非営利活動法人臨床試験推進機構の会員である。データセンターを有しており、本研究において、匿名化したデータに関してのデータマネイジメントや各種事務局

	業務を行います。 以下の機関が御提供いただいた情報を本研究に利用いたします。 【研究代表者】 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 消化器外科学 前田 清 【共同研究機関・研究責任者】 JCHO 大阪病院: 出村　公一 和泉市立総合医療センター: 玉森　豊 一宮西病院: 松本　俊彦 大阪医科薬科大学病院: 山口　敏史 国立病院機構大阪医療センター: 竹野　淳 大阪急性期・総合医療センター: 本告　正明 社会医療法人大阪国際メディカル＆サイエンスセンター　大阪警察病院: 大森　健 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター: 坂井　大介 大阪市立総合医療センター: 秋吉　宏平 大阪大学医学部附属病院: 佐藤　太郎 大阪府済生会千里病院: 小田切　数基 国家公務員共済組合連合会 大手前病院: 宮垣　博道 関西医科大学附属病院: 朴　将源 独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院: 杉村 啓二郎 川崎医科大学附属病院: 遠藤　俊治 近畿大学奈良病院: 木村　豊 近畿大学医学部: 安田　卓司 公立学校共済組合 近畿中央病院: 間狩　洋一 倉敷中央病院: 仁科　慎一 高知大学医学部附属病院: 佐竹　悠良 堺市立総合医療センター: 原　尚志 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院: 中村　将人 市立貝塚病院: 高山　治 市立豊中病院: 西田　勉 市立長浜病院: 上田　修吾 地方独立行政法人 市立東大阪医療センター: 松山　仁 東京大学医科学研究所: 馬場　啓介 東邦大学医療センター佐倉病院: 佐藤　雄 独立行政法人 労働者健康安全機構 大阪労災病院: 浜川　卓也 兵庫県立西宮病院: 岸　健太郎 泉大津急性期メディカルセンター: 田中　浩明 神戸大学医学部附属病院: 金治　新悟 箕面市立病院: 岡　義雄 八尾市立病院: 益澤　徹

	りんくう総合医療センター: 種村 匡弘 和歌山県立医科大学: 下川　敏雄
本研究の 利益相反	利利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院　腫瘍内科 （担当者氏名）仁科　慎一 電話番号：086-422-0210（代表）